

製品名: H2AFX マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82932**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,FC 1:200-1:400
分子量	15.1kDa

抗原情報

遺伝子名	H2AFX
別名	H2AX; H2A.X; H2A/X
遺伝子 ID	3014.0
SwissProt ID	P16104
免疫原	大腸菌で発現したヒト H2AFX の精製された組み換え断片。

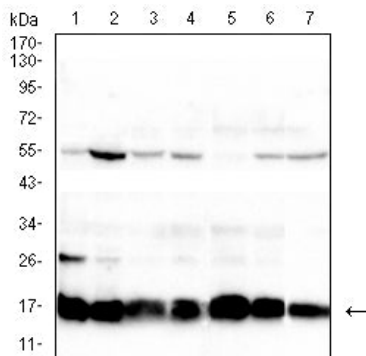
背景

ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ2分子ずつ八量体を形成し、その周囲に約 146 bp の DNA がヌクレオソームと呼ばれる繰り返

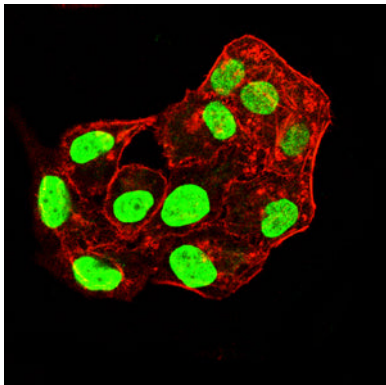
し単位に巻き付いています。リンカーヒストンである H1 は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子は、ヒストン H2A ファミリーに属する複製非依存性ヒストンをコードし、保存されたステムループ終結モチーフとポリ A 付加モチーフを用いて 2 つの転写産物を生成します。

研究分野

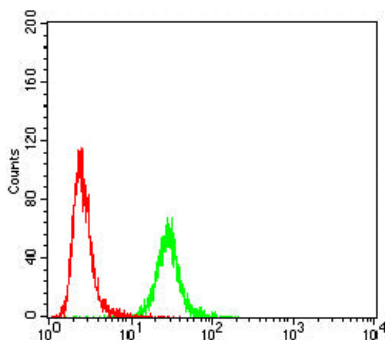
画像データ



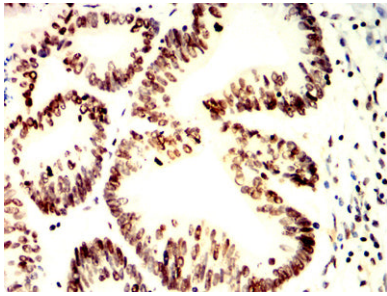
HEK293 (1)、HepG2 (2)、Jurkat (3)、Hela (4)、Raji (5)、K562 (6)、HCT116 (7)細胞溶解物に対する H2AFX マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



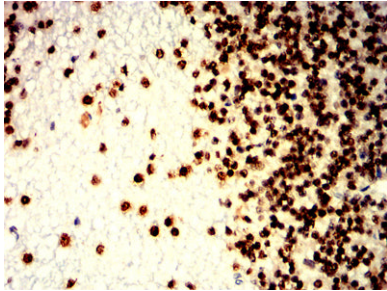
H2AFX マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



H2AFX マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



H2AFX マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



H2AFX マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。